

和 ~ なごみ ~

当院には、吹田市で唯一の

回復期リハビリテーション病棟

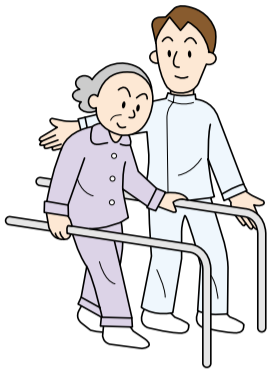
◎回復期リハビリテーション病棟とは？

回復期リハビリテーション病棟は、日常生活の向上による寝たきりの防止と家庭復帰を目的とし、集中して、効率的・効果的にリハビリテーションを行うための病棟です。

この病棟は、平成12年4月に新しくできた制度であり、当院では平成14年5月から導入しています。

回復期リハビリテーション病棟

厚生労働省の基準により、病棟の通路や生活に必要なトイレ、お風呂も広く設計され、生活場面を想定したりハビリが行いやすい環境になっています。



対象者

対象者は、厚生労働省により定められています。

- 1 脳血管疾患、脊髄損傷等の発症又は手術後2ヶ月以内の患者様
- 2 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又は膝関節の骨折又は手術後2ヶ月以内の患者様
- 3 外科手術又は肺炎等の治療時の安静により生じた廃用症候群を有しており、手術後または発症後2ヶ月以内の患者様
- 4 大腿骨、骨盤、脊椎、股関節又



カンファレンス

- 5 股関節又は膝関節の人工関節置換術後1ヶ月以内の患者様
- 詳細は、地域医療福祉連携室にお尋ね下さい。

入院期間

入院期間は疾患や傷病名によって日数が定められています。詳しくは地域医療福祉連携室にお尋ね下さい。



スタッフみんなで！

回復期リハビリテーション病棟ではリハビリの職種だけでなく、看護師などのスタッフも、特に生活場面の中でリハビリに参加していきます。

があります。

◎当院、回復期

リハビリテーション病棟の特徴

リハビリスタッフの人数が充実

リハビリスタッフの人数が多く配置され、リハビリ時間は患者様お1人に対して約2〜3時間と、他の病棟より長い時間をかけて行っています。

365日実施のリハビリテーション

毎日リハビリを実施することで治療効果が高くなるという調査報告があります。

当院では平成22年5月より、日曜・祝日も休みなく365日リハビリを実施しています。患者様、スタッフともに毎日がんばっています。

カンファレンス

担当患者様について毎月1回、主治医・担当看護師・リハビリスタッフ・医療相談員が、専門的な視点で話し合いをする中で、情報



病棟スタッフと生活の場で歩行

また、ご家族様だけで行うことができないリハビリがあれば、それをお伝えし、リハビリ以外の時間でもリハビリを行っていただいています。



ご家族様のリハビリ参加

家屋訪問

回復期リハビリテーション病棟に入院されてから、必要に応じて家屋訪問を行います。

家屋訪問では、実際にその家で生活が可能か、どのような生活となるか、生活するにはどのような改修や福祉用具が必要か、などについての検討を行います。

家屋訪問の後には、退院を見据え、家屋の状況にあわせてリハビリを行っています。

退院後も、改修した場所や福祉用具が適切に利用できているかどうかの聞き取りを行い、フォローもさせていただきます。



家屋訪問

回復期リハと地域連携

退院後の生活に関わっていく地域の医療スタッフに、入院中のことを伝え、これからのことを話し合う合同ケアカンファレンスを設けています。

連絡先

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせ下さい。なお、回復期リハビリテーション病棟に関わること相談は、
地域医療福祉連携室
(06-6339-0909)
にお願い致します。



(理学療法科 宝本圭二・小林 優)



〈合同ケアカンファレンス〉
(退院前、地域の医療スタッフと)

退院後、患者様らしい生活を送っていただくために、入院中の生活状況やリハビリのことを申し送り、今後の生活スタイルを患者様・ご家族様の希望をもとに、みんなで考えていきます。その他、詳細は紹介状を作成し、しっかりと伝えるようにしています。

退院後、患者様が属する地域の方と積極的に関わろうとしています。

入院から退院までの流れ

回復期病棟へ入棟

病棟で生活動作の初期評価

リハビリテーション開始

カンファレンス
(毎月実施)

家屋訪問

試験外泊・外出

退院(ご自宅・施設等)

抗インフルエンザウイルス薬って？



抗インフルエンザウイルス薬とは、体の中でインフルエンザウイルスの増殖を抑える薬で、病気の期間を短縮させたり、症状を軽減させたりする効果があります。

現在日本で使用されている抗インフルエンザウイルス薬は、テレビでもよく報道されているタミフルカプセル、リレンザの他に最近では、1日で投薬が終了するタイプのイナビル吸入粉末剤、点滴用のラピアクタがあります。

基本的にどの薬を使用することも可能であり、薬の特徴を生かした上で医師が診断し、処方箋が発行されます。薬の使い方などについては薬剤師による説明をよく聞いて、服用して下さい。

インフルエンザにかからないようにするには、こまめな手洗い・うがいが基本ですが、室内の換気、外出時にはマスクを着用すること、またワクチン接種による発症予防も効果的です。栄養と休養を十分に取りウイルスに負けない体力・抵抗力をつけて寒い冬を乗り切りましょう。(薬剤科 近藤友里子)

インフルエンザ予防対策



マスク

手洗い

協和会病院ご案内

- 医療法人協和会 協和会病院 吹田市岸部北1丁目24番1号 (代) 06-6339-3455
- 理事長/上田 邦彦
 - 院長/増田 公人
 - 開院年月日/1988年(S63)3月
 - 診療科目/内科、消化器科、整形外科、脳神経外科、放射線科、リウマチ科、リハビリテーション科
 - 専門外来/泌尿器科(月曜日13:00~14:45) 神経内科(木曜日 9:00~11:30)
 - 診察時間/午前診 9:00~12:00(月~土曜日)
 - ※救急医療については、24時間お受けしております。

一知・技・心一

専門的な知識と技術の向上を図り心をこめて安心の医療を提供します

- 基本方針
1. 「患者様中心」を常に心がけ満足される医療を提供します
 1. 急性期から回復期まで、地域に求められる医療を提供します
 1. 医療技術の向上につとめ専門性の高い医療を提供します
 1. 人員・設備・環境を整え安心で安全な医療を提供します
 1. 患者様・職員共に人権を尊重し公正な医療を提供します



医療法人 協和会 協和会病院 2006.2.1 改訂

火災避難訓練



今年の火災避難訓練は吹田消防署にご協力を頂き、協和会病院とウエルハウスとの合同で行いました。

今回はウエルハウスでの火災を想定し、施設間での迅速かつ的確な連絡及び避難誘導を心掛けて実施致しました。訓練当日はあいにくの雨のため、はしご車による避難訓練は実施できませんでしたが、水消火器や散水栓を用いた消火訓練も体験できました。訓練に参加した全ての職員が真剣に取り組んでおり、職員の防災に対する意識の高さを感じることができました。

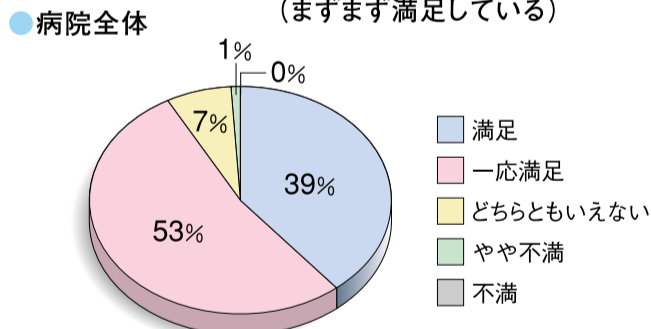
今回の訓練を活かして、日頃から防災に対する意識を持てるようにしていきたいと思っております。(理学療法科 山口修司)



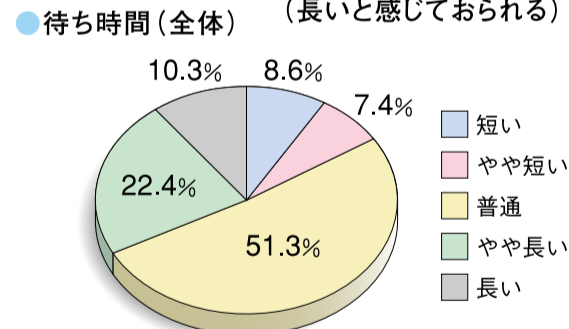
患者満足度調査の結果

平成23年9月5日から9月9日まで外来患者様を対象にご協力頂いた『満足度調査』の結果です。代表的な質問内容アンケート結果を大まかに円グラフ化して報告させていただきます。

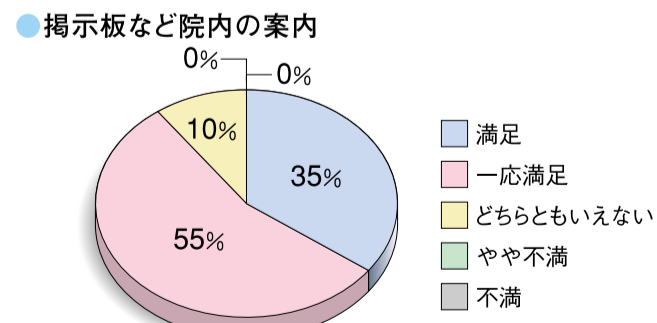
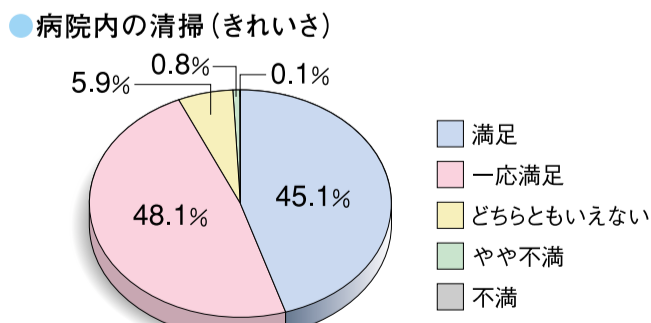
● 病院に対する満足度 **80%** (まずまず満足している)



● 待ち時間について **30%** (長いと感じておられる)



● 病院環境について **90%** (掲示物・清掃など整理整頓は良い)



アンケート調査にご協力いただき有難うございました。

当院でも患者様からの苦情でいつもトップを占めているのが『待ち時間が長い』ことが挙げられます。特に外来患者様においては、複数の部署を経由することが多いので一部門でも待ち時間が長いと結果的に長時間待たされたと感じられた方も多いと思われまます。このように待ち時間が長くなると患者様の不満やストレスの原因になることも少なくありません。

患者様に満足して頂く為には、待たされる側の立場になって考えてみる必要があると思っております。より行き届いたサービスに繋げる意味でも患者様からの意見の拾い上げに努め、満足して頂ける病院を目指して今後も改善を図って参りたいと思っております。(サービス委員会)